

WHAT IS COMMUNITY DESIGN?

コミュニティデザインって、なんだろう

いつまでも、住み慣れた場所で
いきいきと暮らしていける街づくりを

しあわせのまちづくり。

そこに住む人が、互いを活かし、助け合い、自立に向けて動き出す。

人と人との機会や場所を通じてつながり、街に価値を創りだす。

そのために、私たちができる事とは何なのでしょう？

私たちにできる『活動』や『参加』を考える会です。

公開講演会

2015年1月24日(土)15:00～

場所：長崎新聞文化ホールアストピア 3 階

講師：コミュニティ デザイナー 山崎 亮 氏 (studio-L)

参加費：無料（事前申し込みが必要です）

対 象：どなたでも参加可能

定 員：100 名

COMMUNITY DESIGN

いつまでも、住み慣れた場所で、いきいきと暮らしていける街づくりを

公開講演会

コミュニティ デザイナー
山崎 亮 氏 (studio-L)



1973 年愛知県生まれ。大阪府立大学農学部にて増田昇に師事（緑地計画工学専攻）。メルボルン工科大学環境デザイン学部にてジョン・バージェスに師事（ランドスケープアーキテクチャ専攻）。大阪府立大学大学院（地域生態工学専攻）修了後、SEN 環境計画室勤務。三宅祥介からデザイン、浅野房世からマネジメントを学び、2005 年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。

まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、建築やランドスケープのデザイン、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。2006-2010 年には、ひょうご震災記念 21 世紀研究機構（林敏彦研究室／中瀬勲会）にて中山間離島地域の集落について研究。2006-2013 年には東京大学大学院工学系研究科にて大西隆に師事（都市工学科）。博士（工学）。技術士（建設部門）。現在は、studio-L 代表、東北芸術工科大学教授（コミュニティデザイン学科長）、京都造形芸術大学教授（空間演出デザイン学科長）、慶應義塾大学特別招聘教授。主な著書に『コミュニティデザイン（学芸出版社）』『ソーシャルデザイン・アトラス（鹿島出版会）』『コミュニティデザインの時代（中公新書）』『まちの幸福論（NHK 出版）』などがある。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

開催日：平成 27 年 1 月 24 日（土）
時 間：15 時～17 時（受付 14:30 開始）
場 所：長崎新聞文化ホール
参加費：無料（事前申込が必要です）
対 象：どなたでも参加可能
定 員：100 名

企画：NPO 法人 全国在宅リハビリテーションを考える会

そこに住む人が、互いを活かし、助け合い、街が自立に向けて動き出す（自助・互助・共助・公助）。人と人とが機会や場所を通じてつながり、幸せな街づくりを進めていく為に、地域に暮らす私たちができる事とは何なのでしょう。今、日本各地の地域活性や街づくりを支援する活動『コミュニティデザイン』に注目が集まっています。今回、コミュニティデザイナーの山崎亮氏をお迎えし、幸せな街づくりの為に私たちができる事は何かを考える会を企画致しました。地域に暮らす人々が、お互いを支え合い、いきいきと暮らす為に、私たちにできる地域活動や参加の仕方考えます。

お申し込み方法

下記ホームページアドレスのお問い合わせフォームよりお申し込み下さい。お問い合わせ内容に『公開講演会参加申し込み』とご記入下さい。



QR コード

<http://ths.gr.jp/>

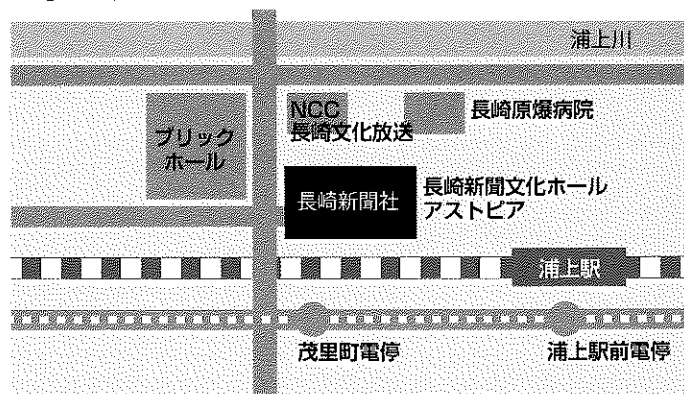
お問い合わせ

Total Habilitation System 株式会社
〒850-0982 長崎県長崎市柳田町 100 番
STUDIO CLOVER
電話 095-832-5500 / FAX 095-832-5510
e-mail: info@ths.gr.jp

主催：NPO 法人 全国在宅リハビリテーションを考える会

共催：公益社団法人 日本理学療法士協会

後援：公益社団法人 長崎県理学療法士会／一般社団法人 長崎県作業療法士会／一般社団法人 長崎県言語聴覚士会／NPO 法人 長崎県介護支援専門員連絡協議会／長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会／長崎市介護支援専門員連絡協議会／一般社団法人 長崎県社会福祉士会／一般社団法人 長崎県介護福祉士会／長崎県医療ソーシャルワーカー協会



長崎新聞文化ホールアストピア 3 階

電車：茂里町電停から徒歩 2 分 / JR：浦上駅から徒歩 3 分

バス：茂里町バス停から徒歩 2 分